

## ReadNotify による社内文書管理のご提案

### 企業のニーズ

個人情報保護法、日本版 SOX 法、新会社法等の施行により、企業は個人情報を含む 文書の流通に関する厳格な管理、コンプライアンス準拠に対する監視能力の増強が要求されています。且つ、それを証明する為の監督官庁等への意味のある報告書を効率的に作成できるシステムが必要です。

更に、漏洩事件が発生した場合は迅速に原因を把握し、漏洩先を特定し、情報を回収し、監督官庁への報告やメディアへの発表などを行う必要があります。これらにおいて、有為な情報をどれだけ効率的に収集し、編集し、使用するかが対応の巧拙を決定します。

従って、以下の情報収集、編集、報告システムが求められることとなります。

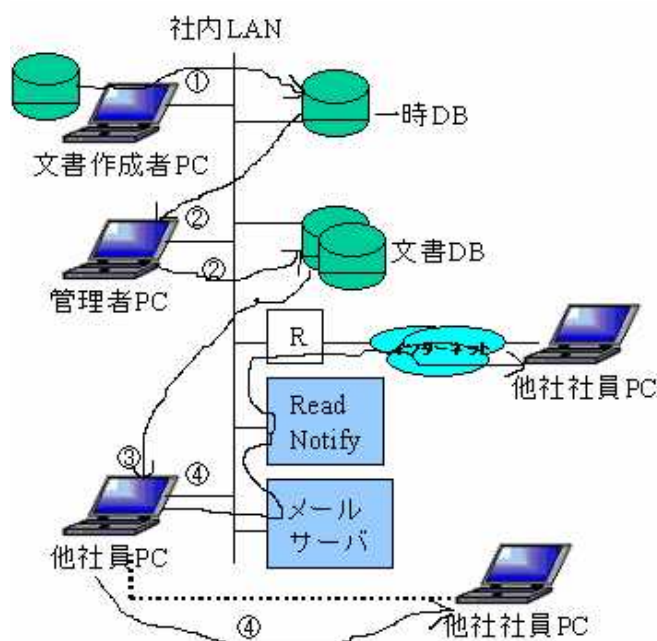
1. 会社内の個人情報を含む文書とメールの社内（イントラネット）での流通状況をリアルタイムで捕捉する。
2. 上記を社外（インターネット）に提供（流出、漏洩）した文書、委託先企業、顧客等に提供している情報、社外の従業者や業務委託等に貸与している自社所有の PC で作成した情報、その PC から発生する情報に対しても同様とする。
3. 文書流通に関するログ情報をリアルタイムで解析し、有為性のある情報は即刻管理者にメールや電話で通知すると共に管理用画面にて現状と履歴の詳細を表示する。
4. 会社内の文書開示規定に違反して文書をコピーまたは閲覧した場合、直ちにその文書と閲覧者を特定し、文書の回収、抹消と閲覧者に対する処分を含む対策が取れる。
5. 上記事故が発生した場合、監督官庁に対する報告書の資料を最少の工数で作成できる。
6. これらは既存のシステムと柔軟に統合でき、且つ管理工数を削減し、管理者の負担を軽減するものである。

### ソリューションのご提案

ReadNotify と他のセキュリティーソリューションを組み合わせることにより上記が実現可能となります。

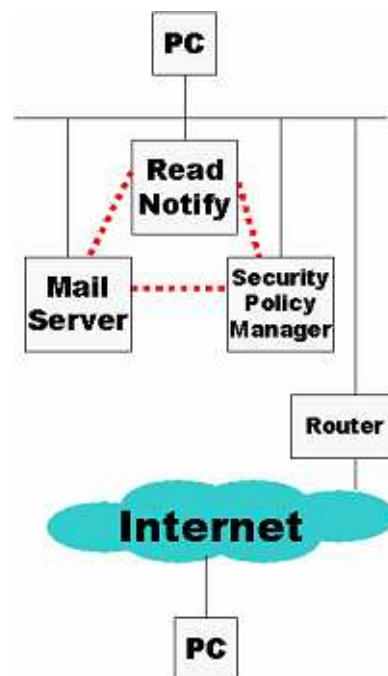
このソリューションは、各クライアントを含む既存のシステムに追加するだけで、短期間で導入できます。

1. 例えば、その利用形態は以下のようになります。
  - ・ 文書作成者は自分の PC で文書を作成し、一時 DB に保存します。
  - ・ この文書の管理者はこの文書ファイルを開き、ReadNotify を使っ



て管理する旨、PC上のボタンをクリックし、文書DBにこの文書を保管します。

- ・ 他社員はこの文書を取り出し、自分のPCに保存します。
  - ・ この社員はこの文書をメール添付して他社社員などに送信します。このメールを ReadNotify 経由で送信すると、それを何時、誰が、何処で、どの様に開封したかが分かります。
  - ・ あるいは、この社員はこの文書をフロッピーなどの記録媒体にコピーし、他社社員などに渡します。
2. セキュリティーポリシーサーバがある場合、メールサーバはセキュリティポリシーサーバの指示に従い、メール宛先、メール本文、添付文書内の文言をサーチし、必要と判断した場合、メールを ReadNotify 経由で送信します。または全てのメール、添付文書を ReadNotify 経由で送信します。
3. ReadNotify サーバは文書の閲覧やメールの開封の履歴情報を独自のデータベースに蓄積し、セキュリティポリシーサーバ等の判断基準に従い独自の報告書作成、警告メッセージ送信を行います。例えば、
- 開封者、閲覧者の種類毎に色分けで表示する。例えば社内は緑、社外の送信先はオレンジ、送信先以外の社外は赤で表示。
  - 警告すべき開封、閲覧（多数の社内、社外の、Web サービスで公開された、等）は点滅表示、等。
  - 警告すべき記録だけをレポートの先頭に表示する。
  - 警告すべき記録は重要度に応じて管理者にメールで報告する。緊急性の高いものは電話で報告する。これにはメール自動生成システム、電話の自動発呼システムを使い、事前に登録しておいた文面、音声イメージを発信する。
  - 送信者毎、送信文書毎に、開封、閲覧の履歴を時間が新 > 旧の順に表で示す。
  - メールや文書の重要度毎に色分けで表示する。
  - 蓄積した ReadNotify ログ情報を他のイントラネット監視システムのログ情報と併せ、ログ解析システムに渡し、別途報告書を作成する。
  - あるいは、メールの開封、添付ファイルの閲覧を以下の様に制限する。
4. また、以下の様な利用もできます。
- ReadNotify はメールの添付文書を自分のサーバに保存しておき、ダミーの添付ファイルをメールに添付して送信します。メール受信者がこの添付ファイルを開こうとすると本来のファイルの表示イメージのダウンロードを ReadNotify に要求します。ReadNotify はこのアクセス要求が正当なPCからの要求である場合にのみ表示イメージをPCに送信します。この表示イメージは一定時間を経過すると自動的に消滅し、PCには残りません。また、この表示イメージはコピー、印刷不可です。
  - メール送信時に受信者がメールを読む時間を設定してメールを送信。メール開封者はメール



## **KenConsulting**

情報・通信・ビジネス

Webサイト <http://www.kenconsul.com>

メール [support@kenconsul.com](mailto:support@kenconsul.com)

携帯 070-5460-5495

本体を送信者が指定した時間だけ読むことができます。この時間を超過するとメールの本体は自動的に消滅。このメールはコピー、印刷、転送不可です。

### **ReadNotify 社について**

ReadNotify 社はメール、文書追跡に関するリーディング企業です。ReadNotify の機能は現在 A S P としても提供されています。詳しくは <http://www.readnotify.com> をご参照ください。

### **KenConsulting 社について**

ReadNotify.com 社の日本に置ける総販売代理店です。

以上